

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和８年度第３回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和８年６月２５日（木） 午前９時００分 ～ 午前１０時１５分
開催場所	Ｗｅｂ会議
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 （委員）	委 員 濱田 和輝 委 員 田中 治夫 委 員 宮崎 仁美 委 員 饗場 順子 委 員 須永 由美子
欠席者氏名 （委員）	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	渡辺課長 石嶋主幹 藤田主任
議 題	（１） 令和８年度評価対象施策の概要について （２） 今後の事務スケジュールについて
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 【資料１】 外部評価ヒアリングまでのスケジュールについて 【資料２】 当日のヒアリング実施スケジュール 【資料３】 ロジック・モデルシート 【資料４】 第５次総合振興計画 【資料５】 施策評価シート、事務事業評価シート 令和８年度外部評価ヒアリング事前質問用紙

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	1 開 会
	2 議 事
委員長	(1) 令和8年度評価対象施策の概要について 本日はタイムスケジュールが厳しくなっており、議題(1)に係る委員からの質問は、各施策に係る事実関係を確認する質問に留めていただき、事業の妥当性など、施策評価の内容に係る質問については、8月6日及び8月7日に行われるヒアリングの際に行っていただきたい。 また、この場ですぐに回答できない質問については、ヒアリング前の書面での回答か、ヒアリング当日に説明を行う取扱いにさせていただく。円滑な進行のため、委員各位の協力をお願いしたい。
事務局	<施策2「乳幼児期の保育・教育の充実」> 資料3～5に基づき、説明を行った。
委員	施策指標「待機児童数」について、令和6年度は0人、令和7年度は18人、令和8年度は0人との説明があった。今回評価すべきは令和7年度の実績のみか。
事務局	本施策に限らず、これまでの経過や、場合によっては令和8年度以降の情報も含めて、総合的に評価していただきたい。
事務局	<施策6「芸術文化活動の推進」> 資料3～5に基づき、説明を行った。
委員	戸田市文化芸術推進条例の内容を知りたい。
事務局	市公式ホームページにて、基本理念、「市民」及び「文化芸術団体」の役割等について公開している。

委員	施策指標で設定している参加者数・来場者数は、戸田市民に限定したことか。ロジック・モデルシートの中間成果欄には「市民・市民団体等の文化芸術活動の活性化が図られる」、「市民の芸術文化に対する興味関心が増す」等の記載があり、戸田市民に焦点を当てていると感じた。
事務局	戸田市民であるか否かを問わず、戸田市内で開催した活動への参加者数・来場者数を示しているものと思われるが、事前質問として、担当部局に共有させていただく。
委員	施策の目的として「質の高い音楽や芸術に触れることのできる環境を整える」とあるが、質の高低どのように測っているか。
事務局	事前質問として、担当部局に共有させていただく。
事務局	＜施策１３「生活困窮者支援の充実」＞ 資料３～５に基づき、説明を行った。
委員	生活困窮者の定義を教えてほしい。
事務局	基本的には生活保護制度の対象となる人を指しているが、実際には生活保護の対象とならない人から、生活が苦しいなどの相談を受けることもある。そのため、本施策では、生活に困っている人の総称として「生活困窮者」という表現を用いている。
委員	施策評価シートの「結果と今後の方向性」において、現行のケースワーカーの配置数が、社会福祉法第１６条に規定されている標準数に比して１名不足していると記載されている。あくまで標準なので、十分な成果が上がっているのであれば問題ないと思うが、市としては体制として充足している認識か、あるいは不足しているが十分な人数を配置できていない状況なのか教えてほしい。
事務局	事前質問として、担当部局に共有させていただく。

委員	戸田市内における生活困窮者やホームレス、ひとり親の人数や割合を示してほしい。
事務局	「ホームレス総合相談事業」の事務事業評価シートの「３．目標達成状況」において、巡回相談日数やホームレス減少率が掲載されている。また、同シートの「目標達成状況の分析」欄において、ホームレスの人数が掲載されている。 また、「生活困窮者自立支援事業」の事務事業評価シートの「３．目標達成状況」において、生活保護の支援対象者件数等が掲載されている。 その他のデータの有無については、事前質問として、担当部局に共有させていただく。
事務局	<施策１４「障がい福祉環境の整備・充実」> 資料３～５に基づき、説明を行った。
委員	障害者雇用を行っている戸田市内の企業数を教えてほしい。
事務局	障害者の法定雇用率をクリアしている市内の企業数やその割合等のデータの有無について、事前質問として、担当部局に共有させていただく。
委員	ロジック・モデルシートの中間成果欄に「障害者の日常生活における不安の一部が解消される」とあるが、一部としている理由を教えてほしい。
事務局	該当の中間成果は、活動欄の「医療費給付事業」及び「障害者施策事業」と結びついているロジックであり、医療費の給付や障害者施設の指定管理・運営補助を行うことで、その範囲での不安は解消されるという意味合いから、一部という表現を用いている。
委員	ロジック・モデルシートの活動欄に「特別支援教育担当者に対する指導助言について支援する」とあるが、「特別支援教育担当者に対して指導助言する」の誤りではないか。

事務局	ご指摘のとおりであり、修正させていただく。
委員	発達障害者の人数はどのように計上しているか。例えば、家族が発達障害であると思っていなくても、学校や専門機関が発達障害とみなした場合は人数に計上されるのか。その結果として、発達障害の人数が増えているのか。
事務局	時代の流れとして、社会的に発達障害への関心が高まり、取り上げられる機会が増えている。単純に発達障害のある人が増えたというよりも、教員をはじめとした関係者の知識や理解が深まり、適切に専門機関へつなぎ、必要な支援やフォローを行う体制が整ってきたことにより、把握される人数が増えているという側面もある。つまり、これまで潜在化していたケースを適切に把握できるようになった結果として捉えている。 詳細については、事前質問として、担当部局に共有させていただく。
事務局	<施策24「公共交通が利用しやすい環境の整備・推進」> 資料3～5に基づき、説明を行った。
委員	施策の目的として「市内外を結ぶ公共交通の利便性を高め」とあるが、評価にあたり、認識しておくべき市外の要因があれば教えてほしい。
事務局	事前質問として、担当部局に共有させていただく。
委員	ロジック・モデルシートの活動欄に「シェアサイクルの実証実験を継続して実施する」とあるが、実証実験なので失敗することも想定され、場合によっては事業の本実施を見送ることも考えられる。実証実験の効果検証はいつどのように行うか。
事務局	事前質問として、担当部局に共有させていただく。 なお、産出に当たるシェアサイクルポートの数については、「交通対策事務費」の事務事業評価シートの「3. 目標達成状況」において、成果指標として掲載している。

事務局	＜施策２９「多様な働き方への支援・充実」＞ 資料３～５に基づき、説明を行った。
委員	施策指標「創業比率」は、事情により実績が出せないとの説明であったが、類似する指標は示してもらえるか。
事務局	経済センサスは５年ごとに実施しており、令和８年が実施年であるが、結果が公表されるのが約１年後である。直近の結果や、経済センサス以外で創業者数に関してお示しできるデータの有無について、事前質問として、担当部局に共有させていただく。
委員	施策の目的として「女性や若者、高齢者、障がい者、外国人などの労働者それぞれの事情に合わせた」とあるが、それぞれのターゲットごとの施策の効果がわかる資料は示してもらえるか？
事務局	事前質問として、担当部局に共有させていただく。
委員長	誰の何をどのように変えるのかという仮説を示すものがロジック・モデルであり、ターゲットは重要なポイントである。
事務局	（２）今後の事務スケジュールについて 資料１・２に基づき、説明を行った。
委員長	意見や質問等はあるか。
委員一同	なし ３ 閉 会